



石岡市地域女性団体連絡協議会のご紹介

◆活動内容・目的

社会教育団体の一つとして活動しています。旧婦人会の時代から、今何をすべきか、時代に即して考え活動し、色々と経験を積んできました。その経験を活かし次世代にどう伝えていくべきか？常に会員が研鑽に励んでいます。私達に出来る事、先ず「子育て支援・ほっとスペース」、若いママ達の友達作りや、心配事相談、ほっと一息つける場所作りをしています。もちろん専門家の方達からも教えを頂いています。又、生活環境問題の中から私達が出来る事、「石岡市家庭排水浄化推進協議会」の一員として「水質浄化は家庭から」と呼びかけ運動を行う一方で、市内の真ん中を流れている山王川の水質調査、廃油を集めて石けん作り、又、石岡市・かすみがうら市・小美玉市の3市で行う子供達への霞ヶ浦浄化を遊びの中での勉強会の一つ「恋瀬川探検隊」等にも協力しています。

人権問題の中から「社会を明るくする運動」、「ハンセン病施設」への慰問、訪問や、医師会・市と共に「健康フォーラム」への協力、市内にある「盲重複施設・光風荘」への協力、交通安全活動等掲げれば限がありません。毎日の生活、地域に根差した活動をしています。

◆重点活動・活動の視点

- ①「ほっとスペース」子育て支援 年6回 市内の保健センターを使用
- ②「国立ハンセン病施設」への訪問、慰問、慰霊碑への参拝（草津・武蔵村山市へ交互に）
- ③「市家庭排水浄化推進協議会」 山王川水質調査（夏、冬）年2回、廃油を利用したの石けん作り、販売、（約5,000個）
「恋瀬川探検隊」 霞ヶ浦浄化作戦を子供達と勉強（3市共同）
- ◎石岡市が掲げている「協働の街づくり」に協力し、少しでも良い街づくりを皆で一緒に率先して行っていきたいと思います。

▼「ほっとスペース」七夕



▼「国立多摩全生園、資料館」にて（平成29年度）



▼「みそ作り」講習会 県南80名で作りました（1人4kg）



▼総会終了後「脳の健康チェック」の講演



◆今後の活動に向けて

会員の皆様の協力と理解を頂き、地域に根ざした活動を続けていきたいと思ひます。

【石岡市地域女性団体連絡協議会】に関するお問い合わせは

〒315-0033 石岡市東光台5-3-2 TEL0299-26-6618 会長 亀井 比志子

コミュニティビジネス入門講座 ～地域に貢献しながら収入と生きがいを得る方法～



◆講師：横田 能洋 さん
(特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事)

コミュニティビジネスとビジネスの違いや営利と非営利の違い等をわかりやすくご説明いただきながら、NPO設立に関する基礎的知識や具体的な内容を交えた実例等を、詳しく教えていただきました。

コミュニティビジネスとは、採算性ありきではなく、色々な力を集めて困っている人のためにできる仕事を創り、課題を解決していくことであり、その為には、思いのある“何か”を続けることができるよう、人・モノ・お金を集めることが大切であると話されました。

行政等がやっても足りないところに気づく、そして旗を振り「私がやります」と手を挙げていることが大事であるということを知り、信念を貫き、あきらめない心を持ち続ける横田さんの熱い思いに、参加者一同、心が動かされました。



◆事例発表者：吉澤 久美子 さん
(特定非営利活動法人 よつ葉ナーサリー 理事長)

事例発表者として、ご自身の体験談をもとに、NPOの設立についてわかりやすく教えていただきました。

保育関連の資格を活かして、自分の力で何か世の為になることをしたいという思いから、2歳児からのプレ幼稚園開設への道が始まりました。

様々な機関へ足を運び、学びを深めてこられたことから、自分の力だけでなく、家族や賛同者の理解、そしてお金と人的努力が必要であることを痛感されたそうです。吉澤さんも数年前は受講者の立場であったと話され、参加者の皆さんの希望にも繋がったように感じられました。

人と人との縁を繋ぎ、思いのある活動として実を結んでおられることに感銘を受け、大変貴重なお話を伺うことができました。



参加者の感想

- ・講師や発表者に気力を感じた。話を聞いたことが素晴らしい体験となった。
- ・具体的なエピソードと共に、NPOについて知ることができて良かった。
- ・ネットワーク作りとしてまずは仲間を増やしていかなければと思った。
- ・今後の生き方に活かしたい。自分の行っていることに思いやりを持って取り組みたい。

平成29年度 茨城県男女共同参画推進員研修会

日時：平成30年2月20日（火）

場所：水戸合同庁舎2階 大会議室

男女共同参画推進員や市町村男女共同参画及び防災担当職員の方々を対象に、男女共同参画の理解を深め、参加者同士の連携を強化することを目的に、研修会を開催しました。

東日本大震災や熊本地震、関東・東北豪雨災害などの自然災害が連続して発生する中で、防災や災害対応、復旧・復興の場において、女性など多様な視点が活かされることの重要性が広く認識されてきています。そこで、今回は「男女共同参画の視点からの防災」をテーマに、避難所運営ゲーム（HUG）体験と静岡大学教授 池田恵子先生の講演を実施しました。

避難所運営ゲーム（HUG）体験

NPO法人あざれあ交流会議

代表理事 大國 田鶴子 さん

静岡県男女共同参画センターを管理・運営するNPO法人あざれあ交流会議の大國さんに担当いただき、避難所運営ゲーム（HUG）体験を実施しました。

避難所運営ゲームは、避難者の年齢や性別、国籍などそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所となる体育館や教室が描かれた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応するかを検討するゲームです。読み上げ係の方が、次々に避難者カードやイベントカードを読み上げ、グループメンバーで配置や対応策を考えることにより、避難所の運営を模擬的に体験いただきました。

ゲーム終了後、各グループから様々なイベントカードにどのように対応したかを発表いただき、参加者同士で情報交換を行いました。



講演「防災・災害対応における男女共同参画・多様性配慮の視点」



静岡大学 教育学部・総合防災センター 教授

減災と男女共同参画研修推進センター 共同代表

池田 恵子 先生

女性をはじめとした多様な人々の視点からの地域防災体制づくりを研究し、その普及活動を展開されている池田先生をお招きし、「防災・災害対応における男女共同参画・多様性配慮の視点」と題して、講演をいただきました。

女性が避難所運営側に加わることで、女性自身や多様な避難者のニーズをくみ取り易くなり、避難所自体の安全性や利便性を高めることができるということや、実際の災害時は、避難所だけではなく自宅や車内など多様な避難場所における避難生活となることが多く、それぞれのニーズも異なることを念頭に置き対応する必要がある、ということをお話しいただきました。



新刊図書

無料貸し出しを行っています。

ご興味のある方はぜひ

支援室内図書コーナーへお立ち寄り下さい。



寄贈図書



【図書名】

YORO Iを脱いで・・・女性たちが
生き抜いた地域活動の軌跡と展望

【著者名】

一般社団法人 JAUW

(大学女性協会) 茨城支部



法律相談

普段抱えている困りごとはありませんか？離婚、借金、交通事故、相続など…女性の弁護士が様々な困りごとに無料でお答えします。

お気軽にご相談ください。

◆ 毎月 第2金曜日 13:00~16:00

キャリア相談

働く女性を対象に、お仕事やライフイベント（結婚・出産・子育て等）の両立について、キャリアに関する相談をお受けしています。専門のキャリア相談員があなたのこれからのについて一緒に考えます。

◆ 毎週水曜日 13:00~17:00

◆ 電話・面接(要予約)・Eメール

おしゃべりサロン

最近、家族や友人とゆっくり会話をしていますか？家族・子育て・人づきあい・仕事など…日頃感じていることや悩み事などを参加者同士で一緒に話し合う交流の場です。くつろぎながら互いの思いを語り合いましょう！

◆ 毎月 第1金曜日 10:00~12:00

◆ 定員10名（先着順受付、予約制）

facebook

茨城県女性青少年課男女共同参画グループでは、facebook ページを開設しています。「ハーモニーいばらき」で検索していただき、ぜひ「いいね！」をお待ちしております♪



発行・お問合せ先

茨城県知事公室女性青少年課
女性プラザ男女共同参画支援室
〒310-0011 水戸市三の丸1-7-41

電話 029(233)3982

FAX 029(233)1330

URL <http://www.pref.ibaraki.jp/bugai/josei/danjo/challenge/index.html>



◆水戸駅から日立方面に向かって、徒歩10分

◆車でお越しの方は
三の丸庁舎(旧県庁舎)
駐車場をご利用ください。

女性プラザ男女共同参画支援室 検索

ホームページはこちらから検索！